

屋久島産ホシハナノミ属の未記録種について

高桑 正敏*・畑山 武一郎**

鹿児島県屋久島におけるハナノミ科ホシハナノミ属としては、キボシハナノミ・オオキボシハナノミ・コモンホシハナノミの3種が報告されているが、筆者らは次の屋久島産3種を新たに記録しておく。

1. シラホシハナノミ

Hoshihananomia perlata SULZER

- 1♂, 永田, 20. vii. 1966, Sugiyama 採集
- 1♀, 小杉谷, 16~18. vii. 1968, 酒井香採集
- 1♀, 小杉谷, 20. vii. 1968, 畑山武一郎採集

屋久島産は上記1♂2♀しか検していないので明らかとは言えないが、北海道・本州・四国産と比較すると、♂♀ともに尾節板の形状を異にし、また♂ genitaliaにも違いが認められる。

2. ウスキボシハナノミ

H. kurosai CHUJO et NAKANE

- 1♂, 宮之浦林道, 23. vii. 1971, 畑山武一郎採集
- 1♀, 宮之浦林道, 6. vii. 1972, 長尾悟採集(写真)

上記♂はオオキボシハナノミ♂の黒化個体にきわめて似るが、上翅基部の会合線に黄色毛を持たないことと、尾節板がよりとがることで区別できる。またこの♂は上翅肩部側方寄りに黄褐色の痕跡的なやや丸い紋を持つ。上記♀は本州産ととくに差は見い出せない。

3. ニセキボシハナノミ

H. katoi NAKANE et NOMURA

- 1♂, 宮之浦林道, 18. vii. 1969, 畑山武一郎採集
- 1♂, 宮之浦林道, 14. vii. 1971, 小宮次郎採集
- 1♀, 坪切山, 20. vii. 1970, 入江平吉採集(写真)



左：ウスキボシハナノミ♀
右：ニセキボシハナノミ♀

4♂♂4♀♀, 宮之浦林道, 20~22. vii. 1971, 畑山武一郎採集

畑山の4♂♂4♀♀はウスキボシハナノミ1♂とともに樹種不明の白色花上より得た。

末筆ながら上記の標本を懇与され、発表を快諾された各氏に感謝申し上げます。

* (〒236 横浜市金沢区六浦町3577)

** (〒606 京都市左京区高野竹屋町37 宮川方)

北海道苫小牧における

エゾアオタマムシの採集例

秋山 黄洋



エゾアオタマムシ *Eurythyrea eoa* SEMENOW はアオタマムシ *E. tenuistriata* LEWIS に似るが、北海道のみに産し、後者の上翅端が二歯状突起となるのに対して、エゾアオタマムシは一歯で終わるので容易に区別できる。

少々古い採集例ではあるがほとんど記録されていないために、採集者の清水昭平氏の許可を得て発表する。

1 ex., 苫小牧市水源地, 20. vii. 1961, 清水昭平採集

上：全体写真
下：上翅端拡大写真
同氏の話によると、草むらの上に乗っていたのである。なお標本は筆者が保管している。

(〒235-02 横浜市磯子区坂下町1-43)

マダラクワガタの採集例と食樹に関する一知見

藤田 宏

マダラクワガタ *Acsalus asiaticus* LEWIS は本州では中山帯に見られ、日本全土に分布するが個体数の少ない種とされている(朽木中からはまとまって採集されることもある)。

本種の採集例と、食樹に関しての一知見を知り得たのでここに報告する。

1 ex., 東京都下奥多摩川乗谷, 9. vi. 1968, 郷遠採集そだのピーティングによる。

1 ex., 静岡県伊豆遠笠山, 12. iv. 1969材採集, 4. iv. 1971羽化脱出(東京都内), 宮原道則採集。

タンナサワフタギの枯木より羽化脱出したとのこと。

菅見(1971, 高縄半島のマダラクワガタ, *Ishizuchi* 2 (1)) による愛媛県下の記録ではサクラおよびカエデ・ミ